

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2026年3月実施分

施設名: にじいろクラスフラット春日部

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				昼食や勉強、工作等で必要なテーブルは適宜片付け、なるべく広く使用できるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか				体制の基準通りではあるが、将来に向けた人材についての補強が必要と感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				利用者の導線を意識し、マットをひく等で段差をなくしていく工夫をしている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか				ミーティングの機会を増えた。また、参加者全員が発言できる雰囲気である。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				日々、送迎で会う事が出来るので、そこでなるべく意見や不安を聞くようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				はい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				社内での業務改善は常におこなっているが、第三者による外部評価は行ってない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				去年よりふえた。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				保護者ニーズを聞き出すのが難しい場合もあるが、基本おこなっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				使用していない。情報の共有として、課題や目標は共有できている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか				毎回実施する担当がかわるが、利用者の様子を含め全体で考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				生活習慣も含め、出来る事を増やしていく支援を意識している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか				おこなっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				事前ミーティングでおこなってる。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				終了後、職員間の連絡事項はグループLINEへ残す様にし振り返りできるようにしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			デイノートと業務日誌で記録している。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			保護者や相談支援と連携をし、定期的におこなってる。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			行っている。
関係機関や保護者と連携関係機関や保護者と連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			児童発達管理責任者又は管理者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			可能な限りしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			受け入れなし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			主に保護者から情報を聞くようにしてる。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			こちらからは発信していない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			機会が合えば受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			毎回ではないが、公園で他児童や大人とかかわる機会が比較的ある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			参加できる協議会があまりわからない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			できるだけ正確に伝える様にしている（良いことも悪いことも）
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			今まで事例はない。
保護者へ説明責任	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			関連資料を使い、口頭だけではなく説明をおこなっている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			保護者から相談があれば

仕等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				イベントでサッカーやミニバスケットと一緒に参加できる場を設けているが、偏ってしまっていると感じる。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				必ず責任者へ報告があがる様になっている。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				LINEやHPを使い、子どもや活動内容を発信している。
	㉓	個人情報に十分注意しているか				職員全員が秘密保持契約を交わしている。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか				個々にあわせ、解りやすく伝えるよう努力している。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				余り出来てない。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか				マニュアルは年に1回の頻度で定期的に発信し周知している。
	㉗	非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか				年に2回以上行ってる。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				研修会や勉強会をしている。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束はしていない。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				今のところ食物アレルギーで医師の指示書を仰ぐ利用者はいない。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				必ず作成し事業所内で共有している。